

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部



JREユニオン仙台地本

発行責任者 水間 勉
編集責任者 斎藤 勝彦

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)



謹賀新年

平成29年年頭の挨拶

平成29年の新年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げますとともに、旧年中に賜りました組合員の諸活動に対するご支援・ご協力に心より感謝を申し上げます。

さて、国内の景気は横ばい圏を脱し、年度末にかけて緩やかに持ち直していき、個人消費や設備投資が横ばいで、海外経済の回復を背景に輸出が緩やかに持ち直していくと考えています。しかし、金融



市場で世界経済の悪化懸念が高まり景気が下振れするリスクが懸念されています。また、米景気回復への期待感が高まった状態が維持され、いわゆるトランプ相場が続いています。円安、株高、資源価格の持ち直しが続いていることは日本の輸出企業の業績改善や国内物価に影響を及ぼすこととなります。今年度は、プラス効果とマイナス効果の両面がありますが、景気の押し上げにつながると考えています。

さて、当社は、設立30年を迎えました。急激な世代交代が様々なところに直面しています。利用者国民の期待に確実に応え

ていき信頼を揺るがすことなく、今後も継続して安全・安定輸送を使命として行かなければなりません。私たちが目指すのは**組合員と家族の幸せ**であり、その源泉は、**安全安定輸送、健全経営、そして健全な労使関係**にあります。本年も私は様々な組織課題に挑んでいきます。

安全の確立を最大の使命とする我々は、羽越線列車事故を忘れず安全の確立にむけて真摯に取り組んでいかなければなりません。一方、大規模な輸送障害や重大な労働災害が相次いでいることを踏まえ、問題意識を高めなければなりません。安全の原点は



職場にあります。安全最優先の意識の下に、基本動作やルールを理解することはもとより、**ミスや不安な事象などを確実に報告し、事故防止につなげる取り組みを積み重ね、職場からの安全を確立**していくことが必要と考えています。意見や悩みを聞くコミュニケーションを深めることが大切です。さらに、職場の問題点は、でき

るだけ職場で解決する取り組みも進めていくことです。先輩から受け継いだ守るべき運動を大切に守り継承するとともに、環境の変化に対応するため、変革すべきは変革し提案の姿勢で責任ある運動を推進していきたいと考えます。

次に、第一の課題は「組織拡大」への取組です。従来からJR東労組の運動に疑問を感じていたことに加え、職場内で何ら活動がない中で、「スト権アンケート」を求められたことに對し、「**東労組に所属すること**で**将来に大きな不安を感じた**」と39歳の仙台地区の中堅社員が東労組を脱退し、ジェイアール

ル・イーストユニオンに加入しました。東労組はスト権確立の職場討議資料で「スト権議論と労使共同宣言は対立する概念ではない」と独自の主張を展開しています。また、会社による「この間の職場活動の規制・排除や団体交渉における不誠実な姿勢」「安全よりも施策を最優先した一方実施」を挙げるなど、今回のスト権議論の目的が春季生活闘争での要求実現ではないことは明らかになっていると考えています。私たちは、困難を乗り越え、**JR東日本の健全な労使関係を求め運動を継続してきました**。国鉄改革の原点を、今一度振

り返り、その歴史的意義や今日の使命と役割を自覚し合つて、前向きに一步一步と着実な歩みを積み重ねてきました。社会から信頼される企業であり続けるために、安全確立の重要性について、労使が認識を共有し合うことが重要です。ストライキについては、企業側の対応に誠意を欠き、労組として譲れない要求を実現すべき時などには、ストライキ権を確立し交渉力の最終手段として位置付けることも必要であるとの考え方を示しています。最後に、昨年もこの言葉を新年の挨拶に使いました。本年も、胸に刻みたいと思います。

「至誠を尽くせば、人の心は必ず動く」
これから先も平坦でない厳しい対応が迫られるでしょうが、決して怯だり、臆することなく、様々な課題に果敢に挑戦し「同志・連帯」を最大の武器として力強く前進してまいります。**民間企業にふさわしい労働組合を築くため共に汗を流さうではありませんか。**

安全を最優先に、組合員と家族の幸せを増進させるために、組合員の目線で、責任ある運動を進めていきます。
今年が皆様にとつて健康で充実した1年となることをお祈りすると共に、ジェイアール・イーストユニオンの運動に対する一層のご理解とご参加をお願いして、新年のご挨拶とします

仙台地方本部

執行委員長	水間 勉	仙台駅
執行副委員長	鈴木義一	郡山電力技術センター
事務局長	柘窪吉則	南仙台駅
執行委員	添田寿男	仙台駅
	小林俊一	総務部人事課(出向)
	齋藤勝彦	新幹線総合車両センター
	関根隆文	総務部人事課(出向)
	清水孝雄	長町駅
	渡辺 近	総務部人事課(出向)
会計監査	大泉浩康	名取駅